

# 農業委員二名を推せん

## ― 第二回臨時会 ―

議会だより

昭和六十二年第二回臨時議会が七月二十日、会期一日で開かれました。

この臨時会で審議されたものは規約改正の専決処分の承認一件、補正予算一件、そして農業委員の推せん三件で、それぞれ次のように決まりました。

◎報告第五号 専決処分の承認を求めることについて(新潟県町村人理事務組合規約の一部改正)

この組合に加入していた十日町地域伝染病舎組合が県の統合計画に基づいて七月三十一日で解散となるため規約を改正するものです。(七月八日専決)

◎議案第三十三号 昭和六十二年度一般会計補正予算第二号を定めることについて

議事が推せんする農業委員は五人以内となつていますが、議長の名推薦で次の方々を指名し、全会一致で推せんしました。

- 推せんされた方(敬称略)
- (部落名) (氏名)
- 釣寄 神保 忠
- 木滑 大橋 正一

◎農業委員の推せんについて

歳入歳出それぞれ一億五千万円を追加し、総額を十億七、三六〇万円とするものです。歳入では、村民税一七〇万円と増額し、県支出金五五万円を減額しました。歳出では、モデル事業費九万五千元、排水路浚渫代四〇万円、設計委託料三〇万円等の増、また、中之口川堤防草刈が県直轄で行われることとなったため関係経費五五万円を減額しました。(原案可決・全会一致)

# 農業委員決まる

## 会長に阿部氏、代理に神保氏を選任



会長 阿部 泰一氏

任期満了に伴う月潟村農業委員会の選挙は、去る七月七日に告示され、同日立候補届出がメ切られました。立候補者数が定数を超えなかったため、七月十二日の選挙会で十人の無投票当選が決まりました。

公選以外の四人の委員も農協推薦理事一名、農業共済組合推薦理事一名、議会推薦に

### 健闘!! 二位入賞

#### 消防ポンプ操法地区大会

第十六回消防ポンプ操法西蒲原地区大会が七月十九日岩室村和納小学校グラウンドで開催され、本村消防団からは第三分団第三部(釣寄、釣寄新)が出場しました。第三分団第三部は、二番目に健闘し、日ごろの練習の成果を十分発揮し堂々二位入賞を果しました。

大会成績は次のとおりです。

- 第一位 黒崎町消防団
  - 第二位 月潟村消防団
  - 第三位 西川町消防団
- (写真左より高柳芳実、萩原松蔵、長沼豊松、高木藤郎、高柳清也の各選手)

よる二名がそれぞれ選任された十四名が七月二十日就任いたしました。又、七月二十四日開催された、農業委員会初総会で委員会の構成が次のとおり決定いたしました。

- 委員長 野内 庄衛(選任)
  - 大橋 正一(選任)
  - 長谷川 稔(選任)
  - 神保 忠(選任)
  - 小山 久司(選任)
- (敬称略)

農業委員会は、優良農用地の確保、農用地利用集積のための利用関係についてのあつせん、利用権の設定、争議の防止をはじめ農業者年金による構造改革の推進、更には農業経営の合理化に資する諸施策の建議あるいは、諮問に当たった答申など農業に関するすべての事項にわたり広汎な役割を担っています。現在、山積みしている農地農政問題に対し農業者の利益代表機関として農業委員会の活躍が期待されるところです。



# 九月から 国民健康保険 被保険者証更新

現在使用している国民健康保険被保険者証及び退職被保険者証は八月三十一日で有効期間が切れ、九月一日に更新されます。

新被保険者証は今月下旬に加入者のお手元に届くよう準備をしております。加入者の皆さんは現在使用している被保険者証と引き換えになりますので、お手元の被保険者証を確認しておいてください。

(注意事項)

◎九月以降にお医者さんにかかるときはかならず被保険者証を窓口へ提出し、確認

## 国民健康保険 運営協議会 委員を委嘱

任期満了に伴う国民健康保険運営協議会委員に七月一日付で次の方々を委嘱されました。

- 公益代表会長 和平 晃
- 代理 神保 善二
- 被保険者代表 深沢 幸雄
- 関本 武夫
- 阿部 久雄
- 吉川 又七
- 笹川日出鶴
- 長谷川監吉
- 武田ヨネ

# 伊佐須美神社を視察

七月十二日、公民館主催による恒例の文化財視察に四十五名が参加し開催されました。

今回は、福島県会津高田町にある岩代国一之宮、会津総鎮守として格式の高い伊佐須美神社を視察いたしました。この神社は、はるか昔、大和王朝の頃、東北地方に巡撫

### 寄付金を頂戴

斉藤順さん(西萱場)から、学校教育に役立てて欲しいと、去る七月八日亡くなられた夫 郁夫さんの香典返しとして十万円のご寄附をいただきました。

ご芳志にお礼申し上げます。有効に活用させていただきます。又、故人の句集も寄贈いただき、就業改善センターの図書室に備え付けました。お寄りの際にご覧いただけます。

## 高齢者学級で 民謡の集い

盛夏の様相を漂わせた七月五日、月寿荘において第五回民謡の集いが開催されました。

この民謡の集いは、月潟民謡研究会(代表岩本男氏)が毎年一回高齢者学級で披露しているもので、今回も唄、踊り、三味演奏、かくし芸など、多種多芸を存分に楽しませてもらい、会場一杯に埋めつくした参加者も暑さを忘れて万雷の拍手を送っておりました。

来年はどのようなものを見せたいだけのものやら、期待しています。



されました。また、御田植祭は日本三田植の一つで、伊勢の朝田、熱田の夕田、高田の昼田として知られ規模の壮大さでは年間最大の祭典であるとのことでした。現地迄車で三時間のところ、機会があったら一度訪ねてみたいだろうでしょうか。(文化財視察についての意見要望がありましたら公民館にご一報ください。) 待っています。